

# 平成25年度小松島市事務事業評価シート

## ■事業の位置づけ（基本事項）

整理番号				5 - 1 - 19					
事務事業名		葬斎場周辺環境整備事業				担当課係		市民生活課 環境企画・公害担当	
総合計画上の位置付け	大項目	6. 「街が輝く」				記入担当者			
	中項目	①快適に暮らせる生活基盤の整備				内線等			
	小項目	5. 生活関連施設の整備				E-mail			
事業の実施主体		市（委託・補助事業含む）				事業区分		経常事業	
事業予算費目	款	4 衛生費		項	2 清掃費				
	目	4 環境対策総務費		事業	4 葬斎場周辺環境整備事業				
開始年度		平成 10 年度		根拠法令・要綱等					

## ■事務事業の概要（実施内容）

事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 小松島市民（特に葬斎場周辺住民）を対象とし、葬斎場周辺の環境整備を実施する。
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 葬斎場周辺の環境整備を実施することにより、市民生活の利便性の向上及び自然環境の保全に繋がり、葬斎場の健全な管理運営に努める。
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 葬斎場周辺環境整備事業として地元協議会の要望に基づき協議を行い、優先度を精査のうえ周辺道路の整備等を行う。
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 小松島市と地元協議会は、周辺対策の一環として道路整備等を協議しながら進めていくこととしており、葬斎場の周辺環境整備を進めている。

## ■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名		指標の説明				指標化できない成果	
	整備工事箇所数		周辺地域の道路整備等の工事箇所数					
	単位		H24	H25	H26	H27		将来目標 （年度：平成）
	箇所	目標	3	3	3	3		3 平成28年度
	実績	3	3					
	達成度	100.0%	100.0%					

  

活動実績・参考となる指標	指標名		単位	H24	H25	H26	H27	指標の説明
	道路整備工事	計画	箇所	2	2	2	2	田野12号線 道路工事 田野15号線外 道路工事
		実績		2	2			
	水路整備工事	計画	箇所	1	1	1	1	田野15号線外 水路工事
実績			1	1				
	計画							
	実績							

## ■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		24年度決算	25年度決算	26年度決算	25年度予算	
全体コスト （円）	A 直接事業費	6,147,600	4,594,800	0	5,000,000	
	財源内訳	国県支出金				
		地方債	5,900,000			
		利用者負担				
		一般財源	247,600	4,594,800		
	B 人件費 ①×②	2,505,711	1,538,594	0		
	職員平均人件費①	25,057,113	15,385,941			
従事した割合②/人	0.10	0.10				
A + B	8,653,311	6,133,394	0			
単位コスト	活動指標の説明	工事箇所数 3	工事箇所数 3		備考	
	活動指標1単位当たりコスト	2,884,437	2,044,465		平成24年4月1日現在 人口40,876人	
	市民一人あたりのコスト	212	151		平成25年4月1日現在 人口40,733人	

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 高速道路建設の進捗状況や葬斎場の建替工事を勘案しながら、周辺道路等の環境整備の促進を図る。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 地元協議会との連携を密にし、協議を重ねながら地域住民の要望に即した周辺環境の整備に努める。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	迷惑施設とされる葬斎場周辺の環境整備として、地元協議会の要望をもとに優先順位を精査し、地域の生活環境改善に努める。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	生活道水路等の整備が中心であることから、市が実施すべきものである。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	地元協議会の要望を受け、関係部署と連携して優先度の高いものから順に、予算の範囲内で整備を図っている。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	地元住民の理解と協力のもと葬斎場の円滑な運営を行うため、優先して実施する必要がある。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	葬斎場の建替工事が近づくなか、周辺環境整備による地域住民の利便性の向上が図られており、管理運営に対する理解や協力が得られていると考えている。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	地元協議会との協議による適確な実施を図り、限られた予算の範囲内で効果的な環境整備を行っていく必要がある。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る		80 点 以上	評価点による判定	判定に至った理由		
		2 現状のまま継続する		60 ~ 79 点				
2		3 改善・効率化し継続		50 ~ 59 点	79	より効果的な環境整備を実施するため、地域住民の要望を関係各部署と十分に精査し、優先度の高いものから順に整備を進める。		
		4 見直しの上縮小する		40 ~ 49 点				
		5 終期設定し終了		30 ~ 39 点				
		6 休 止		20 ~ 29 点				
		7 廃 止		19 点 以下				
							2	

■改善・効率化・見直しの方向性 ※一次評価の判定が3・4の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容 (方向性・対象・手段等について記述)】
----------------------------------

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る		判定説明		
		2 現状のまま継続する				
2		3 改善・効率化し継続		地元住民の理解と協力により、現葬斎場の管理運営が円滑に行われているが、建替後の葬斎場の管理運営についても地元住民の理解と協力が得られるよう、事業を継続して実施する必要がある。		
		4 見直しの上縮小する				
		5 終期設定し終了				
		6 休 止				
		7 廃 止				